### GISHW の新潮流:日本発『グローバル産学官連携』への挑戦

### 68ヵ国・地域の国際機関・企業との協創実現とこれからの日本のリーダーシップ

### 2025年10月10日







Global Initiative for Safety, Health & Well-being at EXPO2025 and Beyond Executive Committee, Chairperson

(一社) セーフティグローバル推進機構 (IGSAP) 理事 (兼) エグゼクティブ委員会委員長

藤田 俊弘 (工学博士)



### THE GLOBAL INITIATIVE FOR SAFETY, HEALTH AND WELLBEING @EXPO2025 AND BEYOND



### 目次





- 2) GISHW活動を始めた背景と日本リードでの産業創成への想い
  - ①日本発技術で、②日本発国際標準化、③日本発国際認証を実現し、
  - ④日本発産業創成によりグローバル社会をリードする
- 3) EXPO2025 大阪関西万博はグローバルな仲間づくりに最適であったこと 安全・健康・ウェルビーイングを推進する仲間づくり 国際標準化&国際認証を推進あるいは活用してくれる仲間づくり
- 4) GISHWプラットフォームの確立による今後の展望 EXPO2025 大阪関西万博レガシーとしてのウェルビーイング・テック推進



#### THE GLOBAL INITIATIVE

#### FOR SAFETY, HEALTH AND WELLBEING @EXPO2025 AND BEYOND





### ▷ 万博史上初 大阪・関西万博で開催した 「安全・健康・ウェルビーイング」デイズ・プログラム

#### 2025年7月16日~19日

- 1) ハイ・レベル・サミット
- 2) ワールド・アッセンブリー
- 3) 国際シンポジウム
- 4) フェスティバル
- 5) ILO ユース・コングレス
- 6) 展示会
- 7) 国際標準化フォーラム
- 8) 大阪・リヤド バトンセレモニー
- 9) ウェルカム・レセプション・パーティ 10) 第10回向殿安全賞授賞式
- 11)企業・大学見学交流会(7月15日)

EXPOホール

EXPOホール+INTEX大阪

EXPOサロン +INTEX大阪

EXPOホール

EXPOホール

INTEX大阪

EXPOサロン

EXPOホール

グランドプリンスホテル大阪ベイ

EXPOホール

川崎重工・シスメックス・メディカロイド

清水建設・大和ハウス

大阪大学











### Over 60% of Participating Countries and Regions in GISHW July Events Represent the Global South



Global South and Global North: Defined by UNCTAD

https://unctad.org/system/files/official-document/osg2018d1 en.pdf



Labour Organization

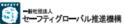
### GISHW 主催・共催・後援・協賛

Organizer

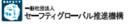


The Global Initiative for Safety, Health and Well-being

Co-Organizers











**Supporters** 

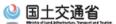






Sponsors

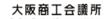
- SUBER ファインパブル産業会 Fine Bubble Inclustries Association

















European Agency for Safety and Health



issa





GISHW 参画団体・企業



iosh

GLOBAL O





VISION ZERO



職業安全健康局 NATIONAL BARRY & BENEZIN CORNEL



















unec







ORP POUNDATION

DANISH :::



Finnish Institute of





m

inshpo





建設業労働災害防止協会 産総研





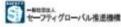
**MTG** 



MITSUBISH ELECTRIC Changes for the Better











MAERSK























IDEC





SCIENCE TOKYO



















### GISHW組織:国際機関・企業の有識者による草の根活動運営体制

1st Executive Meeting @23rd WCSH Sydney

Nov. 27, 2023

Nov. 27, 2023

1st Executive Meeting @23rd WCSH Sydney





### ビジョンゼロ・サミット・ジャパン2022で「安全・健康・ウエルビーイング」を世界と討議



#### オープニングセッション登壇者



向殿 政男 (一社)セーフティグローバル 推連(構 (IGSAP) 会長 日本組織委員会 (JOC) 委員長



後藤 茂之 厚生労働大臣



Dr. Tedros Adhanom Ghebreyesus WORLD HEALTH ORGANIZATION (WHO) DIRECTOR GENERAL



Professor Dr. Joachim Breuer INTERNATIONAL SOCIALSECURITY ASSOCIATION (ISSA) PRESIDENT



Mr. Stefan Olsson
EUROPEAN COMMISSION
(EC)
WORKING CONDITION AND
SOCIAL DIALOGUE
DIRECTOR



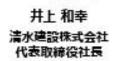














Dr. Tommi Alanko
FINNISH INSTITUTE
OFOCCUPATIONAL HEALTH
(FIOH)
DIRECTOR OF OCCUPATIONAL
SAFETY UNIT



Ms. Vanessa
Harwood-Whitcher
INSTITUTION OF
OCCUPATIONAL SAFETY
AND HEALTH (IOSH)
CHIEF EXECUTIVE

iosh



石村 和彦

国立研究開発法人

產壘技術総合研究所

(AIST) 理事長



Mr. Manfred Schoch

BMW.

CHAIRMAN OF

BMW GROUP WORKS

COUNCIL



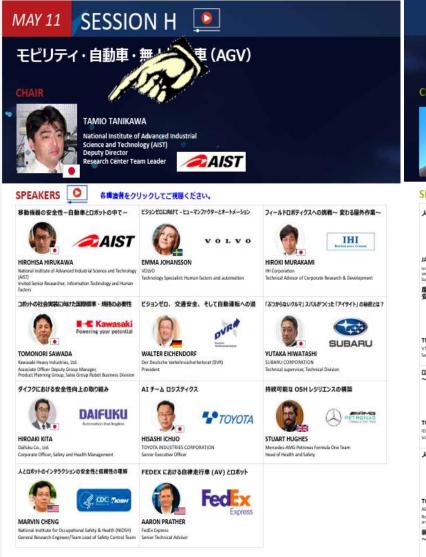




### VISION ZERO SUMMIT JAPAN 2022 (16セッションのうち3セッションを示す)



SESSION K

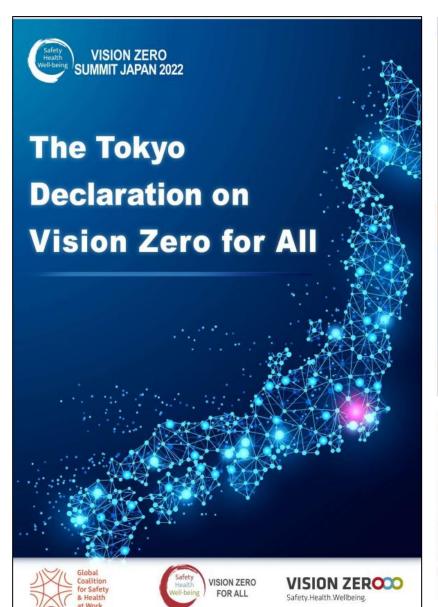






### 安全・健康・ウェルビーイングを追求するビジョン・ゼロと EXPO2025"いのち輝く未来社会のデザイン"の親和性









### The Global Initiative for Safety, Health & Wellbeing at EXPO2025 and Beyond (GISHW)活動の開始@スペインビルバオ(Kick-off Event April 2023)

April 2023 kick-off in Bilbao, Spain















#### 68か国・地域からGISHW「80億人の安全・健康・ウェルビーイング」へ参加の代表的機関・企業

ポリシー&ビジョン 関連推進国際機関

> 研究機関 アカデミア

企業 産業分野 ソリューション提供

(シンポジウムや展示会 への参加企業)







































#### 研究機関



Fraunhofer















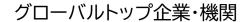


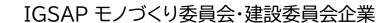




アカデミア































novo nordisk



**DVIDIA** 

leadership & OSH







































### GISHWウェルカムパーティ

グランドプリンスホテル大阪ベイで、GISHWイベント初日開催されたウェルカムレセプションは、海外参加者から、世界初で開催された174年の万博史上歴史的「安全・健康・ウェルビーイング」イベントの開催に対する感謝、並びに将来に向けて大阪で継続開催されることへの期待が極めて大きく、これだけの欧州、北米・南米、アジア・パシフィック、中東・アフリカ、そして日本から参加するというイベントとなったことは画期的であった。





















Copyright 2025 All rights reserved.



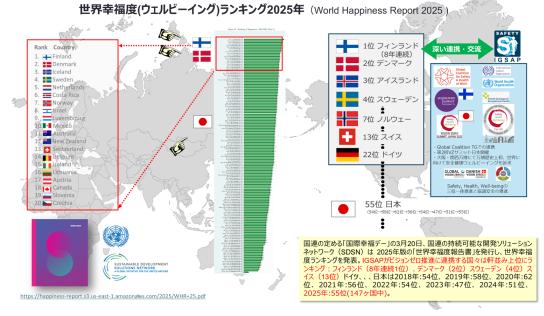
### なぜ世界の人々がGISHW活動に価値を認め参画したのか?

国連専門機関 国連専門機関 世界一の化粧品・美容企業 ĽORÉAL 世界一の石油・エネルギー企業 世界一の電機企業 **SIEMENS** 世界一の製薬企業 世界一の海運企業 **MAERSK** 世界一のAI・人工知能半導体企業 **NVIDIA** IŞO 世界一の国際標準化機関 IEC 世界一の国際標準化機関 世界有数の展示会運営企業 世界一の自動車製造企業 **TOYOTA** 世界一のロボット企業 **FANUC Panasonic** 世界一の電気製品企業 世界有数の建設関連企業 世界一のファインバブル企業 Science MTG AIST IFA 世界有数の研究機関

世界有数の大学

①GISHW活動を通じての新たな関係づくり ②人々のウェルビーイング向上に向けた ロボットやAI等の新技術導入による革新等





WANTE NY



### GISHW共創プラットフォームが2025年7月に大阪で確立

- 今後国際会議&展示会イベントを大阪MICEで推進し連携を拡大 -

GISHWとは"安全・健康・ウェルビーイング"における

グローバル産官学共創体制

ロボット・AI・IoTの専門家が集結することでの新技術による新産業の創成

Al, Robot, IOT, AMR, Production, Engineering



世界中の"安全・健康・ウェルビーイング"専門家による世界初討議と 今後 の連携発起イベント開催

Sharing and inspiring others with their insightful expertise, engaging with a wide range of stakeholders.



国際標準化や国際ルールづく りでの日本のリーダーシップ (日本発国際規格)

ILO standards,
WHO guidelines,
EU Directives,
International Standards
(ISO, IEC)...



アカデミアと世界の卓越する機関・企業との連携・共創による実社会ニーズ解決

Co-Creation between Academia and Leading Global Institutions to Address Societal Needs



CEOや企業幹部の企業の 生産性向上に向けた展開

Boost employee engagement and productivity while Contributing to society





### 



### ISO会長、IEC会長、JISC会長(遠藤氏/元NEC社長)、日本規格協会朝日理事長、 NVIDIA副社長、産総研、IFA、トヨタ自動車、大和ハウスの専門家などが登壇





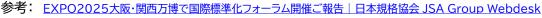


JISCの遠藤 信博会長

ISOのSung Hwan CHO会長

IECのJo COPS会長







等についての万博国際標 準化宣言発出 JSAの朝日理事長









### 「」」」」」 国際標準化フォーラム@EXPOサロン(主催:日本規格協会・GISHW)

























**♥** IFA

Mr. Thomas BÕMER

**≉AIST** 

**@ NVIDIA** 

**TOYOTA** 

IDEC

土肥 正男

IGSAP
The Institute of
Global Safety Promotion

Daiwa House & Group

森 朋仁

大和ハウス工業(株)

Mr. Steven MARGIS IEC副会長/CAB議長

梶屋 俊幸 (一社)セーフティグローバル推進機構 IEC/IECEE認証管理委員会 副議長

IFA /DGUV 谷川民生

産業技術総合研究所 ウェルビーイング実装研究センター長

Dr.リカルド・マリアーニ NVIDIA 産業安全担当副計長

延廣正毅 トヨタ自動車(株) IGSAPモノづくり委員会委員長

IDEC(株) IEC/ACOS日本代表委員

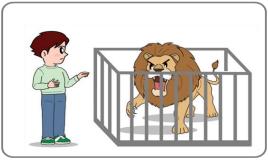
IGSAP建設委員会委員 河田 孝志 河田コンサルタント事務所 IGSAP建設委員会委員長





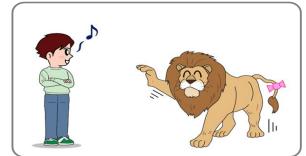


**Safety** 



Safety 1.0

#### Safety + Well-being



Safety 2.0

**VISION ZEROOO** Safety.Health.Wellbeing.



1990 2010 **1970** 1980 2000 2020 2030



### GISHWワールドアセンブリー GISHW-World Assembly設立宣言

万博会場内EXPOホール(シャインハット)にて、メルセデスAMGペトロナスF1のHughes氏を始め、各ワークショップの議長がそれぞれのトピックの結論を全世界に向けて発表。ワークショップを企画運営した世界中から集まった30の組織が、「GISHW-World Assembly設立宣言」に署名。GISHW活動の成果として、「安全・健康・ウェルビーイング」について、本イベントの連携継続と更なる参加機関を募り、継続することを表明した。













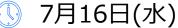




Copyright 2025 All rights reserved.



### 安全・健康・ウェルビーイングがビジネスや 社会に与える影響を、世界の 全 8 セッション 専門家と議論するワークショップ





サステナビリティ

安全衛生と



Francesco Santi (ENSHPO)



Hughes (IOSH)



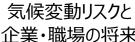
Sven Timm (DGUV)

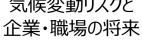


働き方・職場環

境とデジタル化

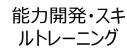
Cam Stevens (PKG)







Andrea Martin Hiddinga- Hogan Schipper (ICOH) (IOHA)





Ulrike Duncan Spencei Bollmann (ENETOSH) (IOSH)

働く人のための 環境



Pernille Christopher Thau Davis (Human House (IOSH)

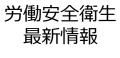




Duncan Spencer



Lars **Tornvia** Human House)



パートナーシップ、 共創



Marilyn

Hubner

(INSHPO)







Matthew Olota (IOHA)



### G20 OSH Network会議と国際シンポジウム

今回のGISHWイベントに合わせて、GISHWメンバーの米国Zhao Li氏の推進力のおかげで、G20会議が午前中クローズで開催され、また午後にはシンポジウムがEXPOサロンで開催された。G20各国がGISHWに参画したことだけでも画期的と言える。下記のスピーチ写真は、1913年設立された、米国NSC(National Safety Council)のCEOのLorraine Martin女史であり、2026年12月の大阪イベントへの来日も確約して頂いている。

















### >60の国際シンポジウムの例



### 海外の安全・健康・ウェルビーイング 先進事例を世界をリードする企業・団体の

### エグゼクティブが紹介する



7月17日(木),18日(金),19日(土)

INTEX大阪



Hans-Horst Konkolewsky President (FiORP)

モデ



Tommi Alanko Director (FIOH)



Wayne Steve **Arondous Conway CEO** Director (MSABC)



Malcolm Staves Vice President (MSABC) (L'Oréal)



Seabrook CEO (Global Solutions)



**Ada Fung** Chairlady (OSHC)



Kelly Nicoll President (IOSH)



Christian Felten Managing Director (BASI)



Ockert **Dupper** Manager (ILO)



Sigrid Roth Secretary General (ISSA)



Nancy Wilk **Cindy Chow** President Chairlady (IOHA) (OSHC)



**Kelly Nicoll** President (IOSH)



Fuad Mosa Advisor (Minister of Energy) Kingdom of Saudi Arabia)



**Azlan Darus** Head of Medical (Perkeso)



Helmuth **Obilcnik** CEO and Owner (BIT Consulting)



Andrea Jennifer Weimar Papantuono Secretary Adviser General (ISSA)

(ISSA)





Alison van Nadja Keulen Schilling Manager Secretary (IOSH) General (ISSA)



Helmut Roberto Hermosilla Ehnes Manager President (ISSA) (Progreso)



Björn Kähler Secretary General (ISSA)





(ICOH)

Seong-Kyu Diana Kang Gagliardi President Secretary General



Mathias Walter Sailer **Neuser**, Chairman Chairman BAU. BG BAU Germany



Stine Moesmand Department Head (Human House)



Sarah Richard Albon Jeffers (HSE) (HSE)



# 建設の新時代を切り拓く革新技術、ウェルビーイングへのアプローチをエキスパート34名が語る!

全 6 セッション

7月17日(木) 18日(金)

INTEX大阪

i-Construction 2.0



**信太 啓貴** 国土交通省大臣官房

自然と人に優しい 木質構造建築



原田 真宏 MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO

遠隔操作、 迅速な災害対応



**池田 靖** 伊藤忠商事株式会社

VR・AI・建機 活用の先進



森 朋仁 大和ハウス工業株式会社

生産性とウェルビーイング



**河田 孝志** セーフティグローバル推進機構

自動自律技術と 協調安全



**杉浦 伸哉** 株式会社大林組



**枝村 字** 日立建機株式会社

### >60の国際シンポジウムの例



### 人と機械の協調安全、新時代モノづくりの ウェルビーイングへのアプローチを エキスパート47名が語る!

#### 全 6 セッション

7月17日(木) 18日(金)



INTEX大阪





セッション

チェ

吹田 和嗣 セーフティグローバル推進 機構(IGSAP)、大同大学 Accident Insurance(IFA)



**Rolf Ellegast** Institute for Occupational Safety and Health of the German Social

人間計測、 人間拡張



持丸 正明 産業技術総合研究所 (AIST)

行動分析、 デジタルヒューマン



多田 充徳 産業技術総合研究所 (AIST)

人と機械の 協調技術



谷川 民生 産業技術総合研究所 (AIST)

包括的アプローチ



梶屋 俊幸 セーフティグローバル推進 機構 (IGSAP)

人口減少、 人機械協調



中坊 嘉宏 産業技術総合研究所 (AIST)



### THE GLOBAL INITIATIVE FOR SAFETY, HEALTH AND WELLBEING @EXPO2025 AND BEYOND



### 目次

- 1) GISHWイベントで実現・達成したこと
- 2) GISHW活動を始めた背景と日本リードでの産業創成への想い
  - ①日本発技術で、②日本発国際標準化、③日本発国際認証を実現し、
  - ④日本発産業創成によりグローバル社会をリードする
- 3) EXPO2025 大阪関西万博はグローバルな仲間づくりに最適であったこと 安全・健康・ウェルビーイングを推進する仲間づくり 国際標準化&国際認証を推進あるいは活用してくれる仲間づくり
- 4) GISHWプラットフォームの確立による今後の展望 EXPO2025 大阪関西万博レガシーとしてのウェルビーイング・テック推進



### 2017年から開始したグローバル連携とIGSAP Executive Committee

によって開催された国際エキスパート交流及びシンポジウム

欧州から学んだ潮流 「安全」「健康」「ウェルビーイング」 の三位一体推進

Safety, Health & Well-being を実現する世界の新たな潮流として VISION ZERO と協調安全(Safety2.0)について国際的議論を継続的に展開











**IEC White Paper "Safety in the Future"** International Safety Symposium 2020/11/26





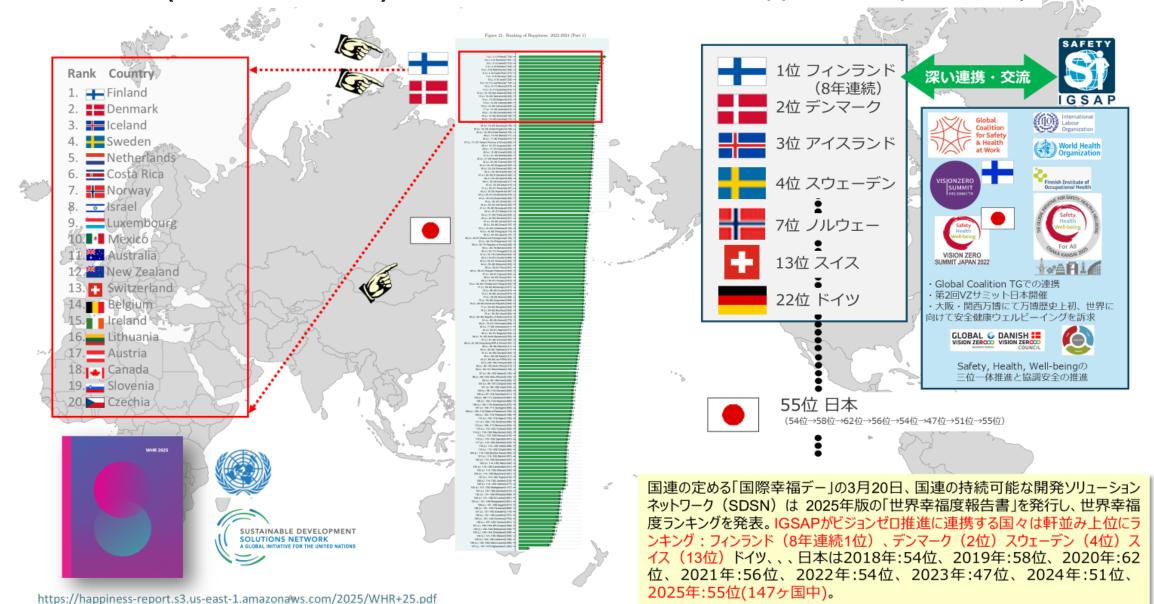






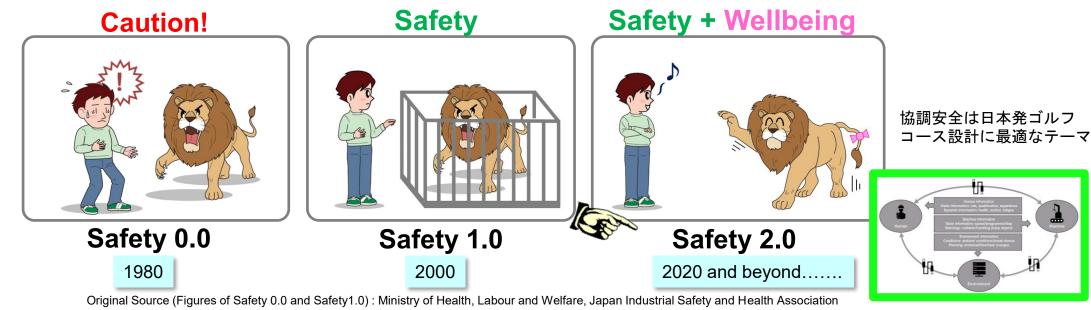


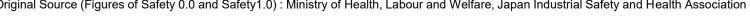
### 世界幸福度(ウェルビーイング)ランキング2025年 (World Happiness Report 2024)





### 日本発の考え方「協調安全」の国際標準化を推進 経産省の支援により2020年IEC白書の発行







堤 和彦 氐 IEC副会長







経産省支援事業によりIEC白書 "Safety in the Future"発行。

人-機械-環境をICT技術で繋ぐことに より「安全」と「ウェルビーイング」の実現 が可能であり、また技術に加えて人材、 マネジメント、ルール形成も同時に推進 するホリスティックアプローチが重要。



### **About IGSAP (The Institute of Global Safety Promotion)**

- Through "Collaborative Safety/Safety 2.0," IGSAP aims to elevate the workers' status from ZERO to POSITIVE.
- In liaison with activities of Vision Zero and GISHW (the Global Initiative of Safety, Health, & Well-being @EXPO2025 and BEYOND), IGSAP aims to achieve the safety, health, and well-being of 8 billion people on the earth—all the global citizens.

#### **IGSAP** members

As of June 2024



NISSAN MOTOR CORPORATION















































Open up your dreams







中央労働災害防止協会

一般社団法人











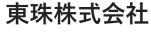




株式会社アトリエ





















### IGSAPモノづくり委員会の目指すところ

協調安全向けのリスクアセスメント標準化等ワーキンググループで討議、検討により 従来の機械安全のリスクアセメントと比べて、以下の改善(例)等を実現:

- ・全体として「リスク低減プロセス」と「制御システムの安全性の決定」の選択肢の拡大
- 作業者への適切な情報提供によって、作業者がリスク低減に貢献 (人の誤りや不適切行動の情報提供により不安全行動の低減)等

**TOYOTA** 

METI Ministry of Economy

トヨタグループ内での 協調安全の実証

\*\*Collaborative Safety Guideline" within Toyota Group

- Developed the concrete methodology of risk assessment and risk reduction for collaborative safety

- Issued "Collaborative Safety Guideline" as a rule for demonstration within Toyota Group

- Verifying the effect of risk reduction measures for collaborative safety and validity of the rule

トヨタの協調安全ガイドライン

国内外モノづくり現場での協調安全の実証と具体的実装推進 協調安全の実証と具体的実装推進 協調安全ガイドライン の世界普及検討 国内外標準化 JIS/ISO/IEC

十日独連携

日独が連携して推進すれば

国際標準化も産業創成も可能

DAIFUKU

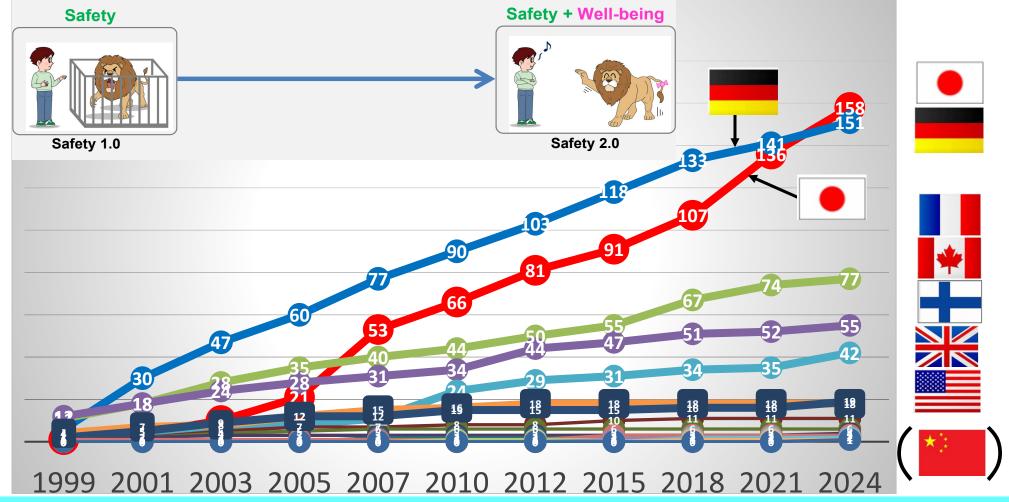
**YASKAWA** 

Panasonic CONNECT



### SIAS安全国際会議での各国別累計発表件数推移





2000年代のドイツリードの安全技術力に、2024年には日本が肩を並べる状況を実現、ドイツと連携して世界をリードできる兆候が見える所へきた。

次回SIAS国際会議は 2026年12月日本で開催











That one step will shift the future.



Düsseldorf

MoU signing ceremony aimed at achieving success of GISHW (@Messe Dusseldorf, June 10, 2024)

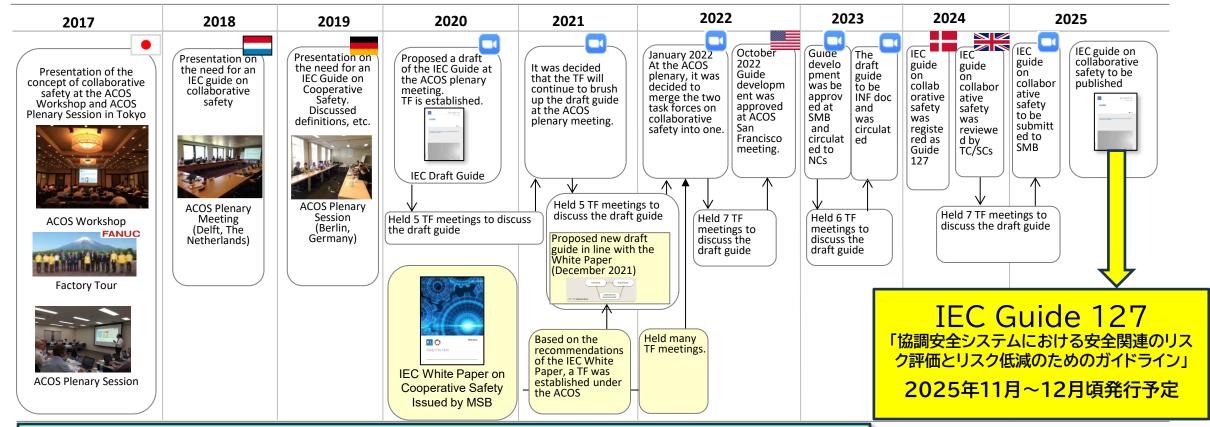




### IEC ACOSでの日本から提案の協調安全に関する

IECガイド127の開発進捗状況





### 経済産業省・(一財)日本規格協会の支援で8年がかりで実現!!











### THE GLOBAL INITIATIVE FOR SAFETY, HEALTH AND WELLBEING @EXPO2025 AND BEYOND



### 目次

1) GISHWイベントで実現・達成したこと

- 2) GISHW活動を始めた背景と日本リードでの産業創成への想い
  - ①日本発技術で、②日本発国際標準化、③日本発国際認証を実現し、
  - ④日本発産業創成によりグローバル社会をリードする
- 3) EXPO2025 大阪関西万博はグローバルな仲間づくりに最適であったこと 安全・健康・ウェルビーイングを推進する仲間づくり 国際標準化&国際認証を推進あるいは活用してくれる仲間づくり
- 4) GISHWプラットフォームの確立による今後の展望 EXPO2025 大阪関西万博レガシーとしてのウェルビーイング・テック推進





### Closing of Summit & Bridge to next EXPO2030 in Riyadh





























#### GISHWの歴史 & GISHW連携価値の向上を目指した大阪MICEの展開予定構想(案)

2022

2025

2026

2028

2030



VZSJ2022日本 主催大成功により 万博活用イベント 開催案の萌芽

**GISHW** 

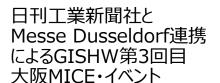
連携価値の向上

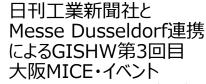
GISHW発足 有識者の草の 根活動開始

2023



日刊工業新聞社と Messe Dusseldorf連携 によるGISHW第2回目 大阪MICE・イベント





サウジアラビア・リヤド 万博でのGISHW イベント開催





》 日刊工業新聞社



//// 日刊工業新聞社



》 日刊工業新聞社









GISHWブランド確立世界ブランド化

GISHWブランドとコンセプトを 大阪でグローバルに継続活用





GISHWブランドがプラットフォームとして知名度確立 大阪発の認知を68か国・地域ヘアピール



### 大阪大学がアカデミアを代表してGISHWイベントへ参画



2023年秋からGISHWの有力メンバーとなった大阪大学が、GISHW国際機関との交流見学会開催含めて様々なイベントで積極的発信を行い、グローバル産官学共創に向けてリードする意志を示してきたことから、海外からも大阪MICE活動における今後のGISHW推進の中核拠点として了解済みの状況



2025.7.31 Thu dans

#### 国際的注目を集めるGISHWの大阪・関西万博イベントに大阪大学が登場

大阪大学は、2025年7月に開催された圏際ブラットフォーム「GISHW(Global Initiative for Safety, Health, and Well-being)」の主要イベントによ いて、アカデミアを代表して構造的に参加し、世界の国際機関や企業とともに「安全・健康・ウェルビーイング」の未来について議論・発信を行 いました。



GSPHME、2022年の「Vision Zoro Summit Japan」を発揮に発見し、LO 「国際財務機関」やWHO Deは「かたする間障職団や妻子を退転で、 国際の大学・機関が影響(関制)およびトナックス大阪で、大田市・地域からの参加を表示を開発できまって機管である。 として発展すてGSPMに加加し、産業料学研究所(原例)、社会ソリニーションイニシアチブ(SSO)、医学系研究科、工学研究科、「Vio わ会 選「などが中心となって誘奏を増加している。

7月17日午前、EXPOホールで開催された「ハイ・レベル・サミット」では、前ノ間洋総長が唯一のアカデミア代表として登場。GISHWが掲げる重 点分野ス分し、大阪大学が生命的に同談していく決意を力強く表明しました。また、サミット的には合国の個人や回際標準化機関(EC・ISO)の 代表とかの空場と行われました。





同日午後のILO主催「ユース・コングレス・ファイナルビッチ」では、本学医学部看護学専攻の学生チームが最終8チームに選出され、流暢な英語 で高水準の発表を行い、ILO開係者や企業から高い評価を得ました。この成果により、学生たちはGISHWレセブションパーティにも招待され、各 国の代表者と交換しました。









YOUTH CONGRESSでの本学医学部学生チームの発表

7月18日には、LVPOサロンにて大阪大学主催の回際シンボジウムを開催。原田使一度業料学研究所所長の病括のもと、竹村景子理事・副学長の関 会携押に続き、「安全(工学研究科)」「健康(医学系研究科)」「ウェルビーイング(座冊)」の各分野から計9年の発表を行いました。国内外から お70名が参加し、大阪大学の先進的な研究と社会無償の姿勢を発信する好機会となりました。







同日には2030年リヤド万博へのパトンリレーセレモニーが開催され、室目卓生特任表程(複数)(SS)が登場。大阪大学と関西経済三団はか立ち、 上げた「いのち会議」の「いのちの歌」が橋本昌彦氏により披露されました。 翌19日には、インテックス大阪で開催されたサウジアラピア主催の シンボジウムで、NCOSH (サウジ国家労働安全能士センター)や世界最大のエネルギー企業であるRAMMOのとど、夏人が多数出席する中、再び室 目教授のスピーチと「いのちの歌」が披露され、大阪大学としてのサウジアラピアとの連携に向けた強い想いを、文化とメッセージの両面から国 際的に発信することができました。





大阪から次期万博開催国サウジアラビア(リヤド)へのバトンリレーセレモニー

なお、本イベントの2日前となる7月15日には、GISHW参画機関の関係者約30名が吹田キャンバスを訪問。産業科学研究所やCIDER(感染症総合教育研究拠点)などを見学し、産研の谷口・関谷研究室や「いのち会議」の取り組みについても紹介。活発な意見交換が行われました。

午後には中之島のNAKANOSHIMA QROSSも視察いただき、本学の多様な研究資源と国際的連携の可能性を広く示しました。



GISHW executivesの産業科学研究所及びCiDERの見学

GISHWは今後も国際的な共創の場として発展し、2030年のリヤド万博に向けて参画機関が成果を持ち寄ることが構想されています。その中心的な 発料地である大阪では、今後もGISHWの理念を継承する国際イベントが開催される予定です。大阪大学は、引き続き卓越した国際機関と連携し、 このプローバルな取り組みに主体的に貢献してまいいます。

く関連リンタン 大阪大学産業科学研究所 https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/ 社会ソリューションイニシアイプ (SSI) https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/ 大阪大学医学系研究科・医学部 https://www.end.osaka-u.ac.jp/ 大阪大学工学部/大学院工学研究科 https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/ いのち会識。大阪大学エタのS

https://sdgs.osaka-u.ac.jp/inochi-forum/ CiDER 大阪大学感染症総合教育研究拠点 https://www.cider.osaka-u.ac.jp/

国際的注目を集めるGISHWの大阪・関西万博イベントに大阪大学が登場 - 大阪大学



### GISHW参画機関有識者メンバーが吹田キャンパスを訪問 産業科学研究所やCiDER(感染症総合教育研究拠点)を見学









SANKEN THE UNIVERSITY OF OSAKA



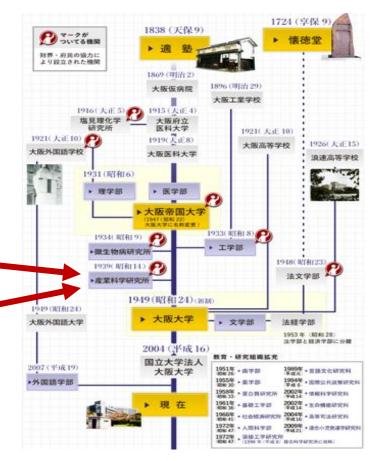
### History of SANKEN (The Institute of Scientific and Industrial Research)



- Tekijuku, the predecessor of the School of Medicine, was founded by the Rangaku scholar Koan Ogata in 1837.
- **1931** Osaka Imperial University was established.
- A group of leading figures from Osaka's business community submitted a proposal to the government for the establishment of the Institute of Scientific and Industrial Research at Osaka Imperial University and worked toward its realization.
- The decision was made to establish the Institute of Scientific and Industrial Research as an affiliated institute of Osaka Imperial University. Once the establishment was approved, donations were solicited from industry, and the Industrial Science Research Association (now a general incorporated foundation) was founded as the liaison organization for industry.
- 1939 The Institute of Scientific and Industrial Research was established as an affiliated institute of Osaka Imperial University
- Integrated the Acoustics Research Institute (the origin of the later information science field).
- **1968** Relocated to the Suita Campus.



KUSUMOTO HALL







Mr. Masatsune Ogura and Mr. Chubei Ito
Dedicated themselves to the establishment and operation.

## Safety Health Well-being Por All Cara Kansal 2025

### GISHW活動によりグローバル産官学連携ネットワークが確立済み





<u>日本の企業・大学・学会・団体にとってのGISHWグローバル産官学コンソーシアム(仮称)への参画メリット</u>

- ・ウェルビーイングテックに関する最新技術の世界超一流機関・企業への発信・連携が可能
- ・ウェルビーイングテックの世界市場創成へのビジネスチャンスの速やかな展開が可能
- ・ウェルビーイングテック技術普及に為の国際ルール形成の仲間づくりと国際標準化推進が可能
- ・ウェルビーイングテック技術の世界中の働く環境への社会実装パートナーと連携可能
- ・世界68ヶ国・地域の安全・健康・ウェルビーイングに関わる機関・企業と連携可能



### GISHW共創プラットフォームが2025年7月に大阪で確立 - 今後国際会議&展示会イベントを大阪MICEで推進し連携を拡大 -

GISHWとは"安全・健康・ウェルビーイング"における

グローバル産官学共創体制

ロボット・AI・IoTの専門家 が集結することでの新技術 による新産業の創成

Al, Robot, IOT, AMR, Production, Engineering



世界中の"安全・健康・ウェルビーイング"専門家による世界初討議と今後の連携発起イベント開催

Sharing and inspiring others with their insightful expertise, engaging with a wide range of stakeholders.



国際標準化や国際ルールづくりでの日本のリーダーシップ

(日本発国際規格)

ILO standards,
WHO guidelines,
EU Directives,
International Standards
(ISO, IEC)...



アカデミアと世界の卓越する機関・企業との連携・共創による実社会ニーズ解決

Co-Creation between Academia and Leading Global Institutions to Address Societal Needs



CEOや企業幹部の企業の 生産性向上に向けた展開

Boost employee engagement and productivity while Contributing to society

